

が250回忌に参加してくれたことは、きわめて意義深く、その実現に私も関与できたことは名誉に思う。

その故事を紹介すると奥村良筑の声名を聞いた山脇東洋は、宝暦2年(1752)息子山脇東門と永富独嘯庵を越前に行かせ吐方を学ばせた。時に良筑67歳、独嘯庵21歳、東門17歳であった。二人の若者を迎えた良筑は「吾子千里来り見ゆ、猶竹林に華を生ずるが如し。死すとも遺憾なし」と語ったという。独嘯庵のことだから、きっと良筑に厳しい質問もしただろうが、それを温かい眼差しで受け答える良筑の姿が見えるようである。

この日は雲一つない日本晴れで、明るい光が写真にも感じられる。

またこの寺の家紋は卍を逆にしたもので、蜂須

賀家のものであり、住職から寺と永富独嘯庵の関係について興味ある話を聞いたが、報告は知識の肉付け、裏付けをしてからにしたい。

永富独嘯庵 251 回忌のお知らせ

日時：平成29年10月29日(日)
 場所：大阪府天王寺区蔵鷲庵
 午前11時より法要、引き続き直会
 会費：1万円
 申込、問合せ：大分市府内町2-2-1 名店ビル2階
 黒川醫院 黒川達郎
 ☎097-535-7655
 Eメール：kokundou@gmail.com

例会記録

日本医史学会 11 月例会

平成28年11月26日(土)

順天堂大学10号館1階105カンファレンスルーム

1. 下関関係の医学史料・史跡 小曾戸 洋
2. 佐藤進と李鴻章——その2—— 酒井 シヅ

日本医史学会・日本薬史学会・日本獣医史学会・ 日本歯科医史学会・日本看護歴史学会・洋学史学 会 合同12月例会 平成28年12月17日(土)

順天堂大学10号館1階105カンファレンスルーム

1. 新たに発見された養生所遺構の保存について
(緊急提言) 相川 忠臣
2. 牛痘伝播についての小考
洋学史学会：青木 歳幸
3. 江戸時代までに渡来したヨーロッパ医学の実像
日本医史学会：坂井 建雄
4. 石館守三博士の生涯から教えられるもの：
3つのお仕事に焦点を絞って
日本薬史学会：森本 和滋

5. 日本の鶏病の歴史——鶏のサルモネラ症の防疫史を主題として——

日本獣医史学会：佐藤 静夫、佐藤 国雄

6. なぜ歯科医学は大学学部から除外されたか
——戦前の高等教育史——

日本歯科医史学会：金子 譲、吉澤 信夫、
片倉 恵男、福田 謙一、
上田 祥士、齊藤 力

7. 学校看護婦の再教育——全国学校看護婦講習会に焦点をあてて——

日本看護歴史学会：滝内 隆子

日本医史学会 1 月例会 平成29年1月28日(土)

順天堂大学第2教育棟3F301

1. 『痘科鍵』にみる池田瑞仙への影響
西巻 明彦
2. 歴史をあむということ
岡田 靖雄